学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	「新高等学校 現代文Ｂ」（明治書院） 「高校漢字力トレーニング」（増進堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生では、社会人で必要となる国語力を身につけられるように学習します。
・様々な文章を読むことを通して、社会や人間のあり方について学び、自分自身の生き方について考えましょう。また、情緒豊かな文章を、深く味わい楽しみましょう。
・３年生では今までやっていた漢字の学習に加え、言葉の学習も重点的に行っていきます。新しく購入した副読本を使って語彙力を高めることで、言葉の世界に親しみをもってもらいたいと思います。言葉が豊かになることは、世界の見方が広がることになります。楽しみながら取り組みましょう。
・授業で扱うのはどれも選りすぐりの文章ばかりです。論理展開や表現技法に着目して、自分が文章を書くときに参考にできるように、意識して読み込みましょう。
・授業中の発問に対しては、自分が当たっていなくても、常に自分の頭で考えて言語化する習慣をつけてください。
・気になったことは積極的にメモを取るようにしましょう。
・予習として必ず自分で本文を読んでおいてください。授業後には内容を振り返って復習してください。

2　学習の到達目標

・語句の意味を理解しながら、文章の内容を把握することができる。
・目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり話し合ったりする中で自分の考えをまとめて発言できる。
・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、論理的に表現できる。
・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけ、小テストを８割以上取るための取り組みができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を適切に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 （授業中の発言や発表等） 記述の点検 （ノート・プリント等）	行動の観察 （授業中の発言や発表等）	記述の確認 記述の分析 （ノート・プリント等） 定期考査	記述の確認 記述の分析 （ノート・プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート・プリント等） 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期 中間	随想	言葉に対する感性を磨く 教材:「月あかり雪あかり花あかり」	○			◎	○	a:表現を読み味わい、言葉に関する感性を磨こうとしている。 d:情景を的確に思い描き、母親の心情を理解している。 e:慣用的な表現を理解している。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	安部公房の作品のメタファーを読み解く 教材:「赤い繭」	○	○	◎			a:短い小説を読み、さまざまにイメージを膨らませようとしている。 b:「家」「繭」が何を意味しているかを考え、話し合う。 c:自分の考えを文章で書けている。	a、b:行動の観察及び、記述の点検 c:プリント教材での記述の確認
	評論	社会学の視点から「幸福」について考える 教材:「幸福について」	○			◎	○	a:筆者の論理を捉えようとしている。 d:「幸福」と「満足」の関係を理解し、「幸福」とはどのようなことをいうのかを読み取る。 e:論理展開を理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	詩	韻文の特徴を捉え、感性を育てる 教材:「旅上」 「弟に速達で」	○	◎			○	a:音読して詩のリズムを味わうと同時に、独特の世界観を楽しむ。 b:詩から読み解ける内容を想像して自分の意見を発表する。他人の意見もよく聴き、推論しうる解釈を導き出している。 e: 言語表現の工夫を発見し、理解する。	a,b:行動の観察及び、記述の点検 e:記述の確認及び定期考査
一学期 期末	評論	生きる力について考える 教材:「心の鉱脈」	○	◎			○	a:筆者のものの見方・考え方・感じ方を捉えようとしている。 b:「心の鉱脈」を発見し、「心のエネルギー」を活用して生まれる「生きる力」について、自覚し、発言できている。 e:語句の意味、用法を的確に理解する。	a、b:行動の観察及び、記述の点検 e:記述の確認及び定期考査

一学期 期末	小説	家族の絆や友人関係について考える姿勢を養う 教材:「ナイン」	○		◎		○	a:短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかもうとしている。 c:登場人物の人物像や心情についてまとめる。 e:小説に出てくる慣用表現を理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 c、e:記述の確認及び定期考査
	評論	近代の情報化社会における認識を深める 教材:「ロボットとは何か」	○			◎	○	a:筆者の近代社会に対する問題意識をつかもうとしている。 d:技術の発展によって人間はどのようになっているかを理解する。 e:論理展開を的確に捉える。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
二学期 中間	評論	「世間」についての考えを深める 教材:「「世間」とは何か」	○			◎	○	a:筆者の述べる「世間」について理解しようとしている。 d:各自体験を基に「世間」についての考え、歴史学的視点を理解し、深める。 e:論理の展開を理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	名作と呼ばれる作品にふれる 教材:「こころ」	○	◎			○	a:小説の展開を理解しようとしている。 b:登場人物の心の変化と行動を理解し、登場人物の生き方について話し合う。 e:日本文学の代表的作家、夏目漱石の小説の普遍性を理解する。	a、b:行動の観察及び、記述の点検 e:記述の確認及び定期考査
二学期 期末	評論	芸術のあり方について理解する 教材:「絵はすべての人の創るもの」	○			◎	○	a:芸術について興味を持って知ろうとしている。 d:創造を鑑賞は芸術において等価であるということを理解する。 e:対比によって論点を明確にしていく論じ方を理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	俳句	日本の詩歌の豊かさを理解する 教材:「いきいきとほそ目がかがやく(俳句十句)」	○	◎			○	a:俳句で描かれた情景や心情を想像しようとしている。 b:個々の作品の特徴を話し合う。 e:俳句の修辞技法を理解する。	a、b:行動の観察及び、記述の点検 e:記述の確認及び定期考査

三学期 学年末	評論	既成のものの見方にとらわれない視点を探る 教材:「コンコルドの誤り」	○			◎	○	a:論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 d:人間の思考の「誤り」について考えを深める。 e:具体例や対比の表現から主張が明らかになっていくことを理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	象徴的な表現の散文を味わう 教材:「オデュッセイア」	○	◎			○	a:論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 d:人間の思考の「誤り」について考えを深める。 e:具体例や対比の表現から主張が明らかになっていくことを理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。